

◆分野別評価シート(案)

領域と分野	分野別目標
領域番号 分野名	分野別目標を記載

指標の推移

指標	ベースライン	中間評価	指標の方向	評価
各分野の指標を記載	ベースライン時の 数値を記載	中間評価時点での 数値を記載	目指す 方向性 を記載	評価を 記載
<div style="border: 1px dashed black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> 数値の変化をグラフ等で表示 </div>				

これまでの取組

＜都の取組＞

平成25年度からの取組を経年的に記載

＜区市町村の取組＞

分野に関連する都の補助事業等を記載

分析及び評価

直近値に係る分析 (ベースラインからの動きについて(留意点含む))	評価 (直近の実績値に対する評価)
ベースラインからの動きについて、留意点も含めて記載	直近の実績値に対する評価を記載
	全体の評価を記載 (a、b、c、-)

◆ 現状と課題／今後の方向性

中間評価部会で議論いただく「まとめ」として記載

- これまでの取組と現状について
- 今後の取組の方向性について(都の特性を考慮した具体的な内容を記載)
- 関連する調査結果等

◆分野別評価シート(記載例)

領域と分野	分野別目標
2-1 栄養・食生活	適切な量と質の食事をする人を増やす

指標の推移

指標 (国民健康・栄養調査(栄養摂取状況調査/東京都分))	ベースライン (平成19年~21年)	中間評価 (平成24~26年)	指標の 方向	評価
①野菜の摂取量(1日当たり)350g以上の人の割合 (20歳以上)	①男性 31.9% 女性 28.6%	①男性 35.5% 女性 34.4%	①増やす (50%)	a
②食塩の摂取量(1日当たり) 8g以下の人の割合 (20歳以上)	②男性 18.9% 女性 31.5%	②男性 22.4% 女性 37.1%	②増やす	a
③果物の摂取量(1日当たり)100g未満の人の割合 (20歳以上)	③男性 60.9% 女性 49.5%	③男性 61.8% 女性 52.0%	③減らす	c
④脂肪エネルギー比率が適正な範囲内 (20%以上25%未満)にある人の割合(30~69歳)	④男性 31.2% 女性 20.6%	④男性 26.1% 女性 18.6%	④増やす	—

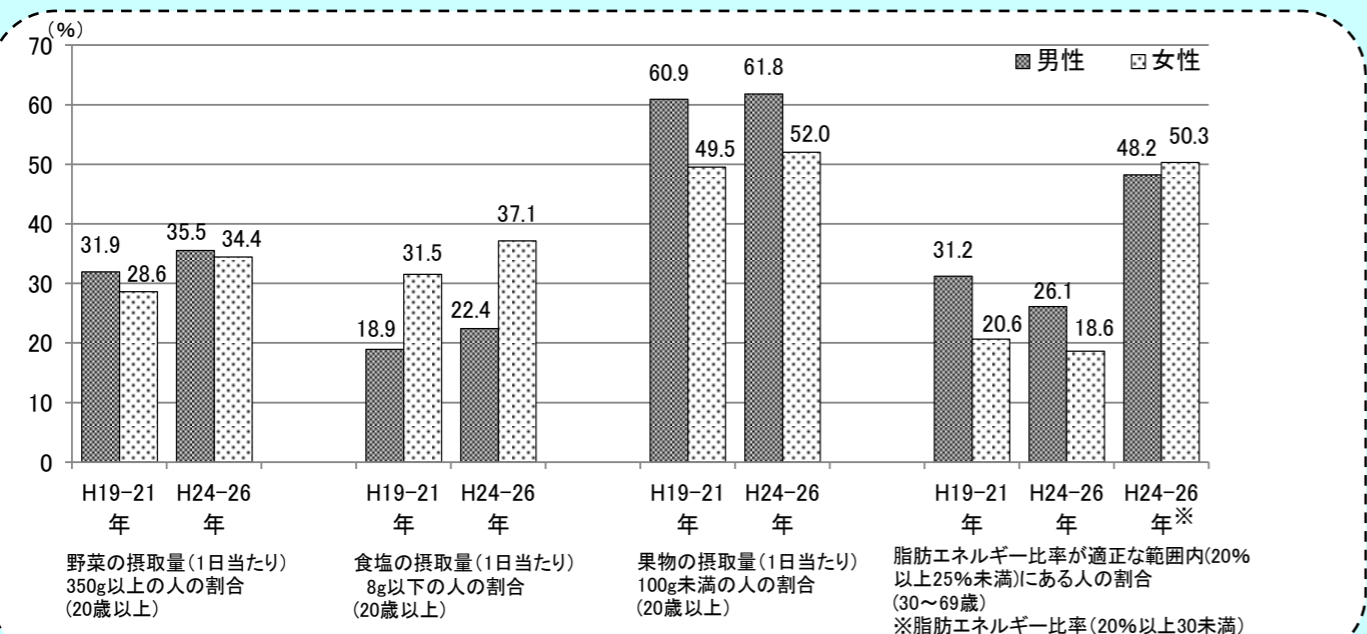
これまでの取組

＜都の取組＞

平成25年度	<p>＜都民向け普及啓発＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○健康づくりポータルサイト「ときょう健康ステーション」の開設 ○普及啓発リーフレット「健康のためのヒント集」の作成(20,000部) ○東京都提供テレビ番組「東京サイト」を活用した普及啓発
平成26年度	<p>＜地域における食生活改善普及事業＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜メニュー店の整備 181店(H27.3末時点) ○都民向けガイドブックの作成 <p>＜野菜のメニューを選ぼうキャンペーン(H26、27)＞ ＜野菜を食べる！習慣づくり(H28、29)＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ○野菜摂取を呼びかけるPOPの掲出 *日本フランチャイズチェーン協会と連携、都内コンビニ(約7,000店)に掲出 ○野菜摂取啓発チラシの作成・配布 *東京都弁当協同協会と連携(約6,000枚)
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜メニュー店の整備 206店(H27.7末時点) ○都民向けガイドブックの配布 (区市町村・都内大学等) <p>○野菜摂取を呼びかけるPOPの掲出・POSレジ広告の実施 *日本フランチャイズチェーン協会等と連携し、都内コンビニ等に掲出(20,712枚)</p> <p>○野菜摂取啓発チラシの配布・掲示 *東京都弁当協同協会(3,521枚)・日本チェーンストア協会(10,000枚)と連携</p>
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜メニュー店の整備 320店(H28.7末時点) ○都民向けガイドブックの増刷・配布 *食育フェア(産業労働局) *市場まつり(中央卸売市場) <p>○野菜たっぷり簡単レシピの作成・配布 *日本チェーンストア協会と連携 *調理師関係団体と連携</p> <p>○卓上のぼりの作成・配布(3,000個) (都内青果店等での設置)</p> <p>○市場まつりでのガイドブック配布(再掲)</p>
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜メニュー店の整備 365店(H29.4末時点) ○ポスター・ちらしの作成 <p>○野菜たっぷり簡単レシピの作成・普及 *調理師関係団体と連携 *レシピ検索サイト及び都ホームページ「ときょう健康ステーション」に掲載</p>

＜区市町村の取組＞

--



分析及び評価

直近値に係る分析 (ベースラインからの動きについて(留意点含む))	評価 (直近の実績値に対する評価)
<ul style="list-style-type: none"> ○野菜の摂取量:改善の傾向であるが、目標を達成していない。 ○食塩の摂取量:改善しているが、目標を達成したとは言えない状況。 ○果物の摂取量:ほぼ横ばい。 ○脂肪エネルギー比率:悪化の方向であり、特に男性において減少率大きい。 	<ul style="list-style-type: none"> ○野菜及び食塩の摂取量:改善傾向 ○果物の摂取量:不変 ○脂肪エネルギー比率:悪化
	b

◆現状と課題/今後の方向性

<p>中間評価部会で議論いただく「まとめ」として記載</p> <ul style="list-style-type: none"> ○これまでの取組と現状について ○今後の取組の方向性について(都の特性を考慮した具体的な内容を記載) ○関連する調査結果等
--